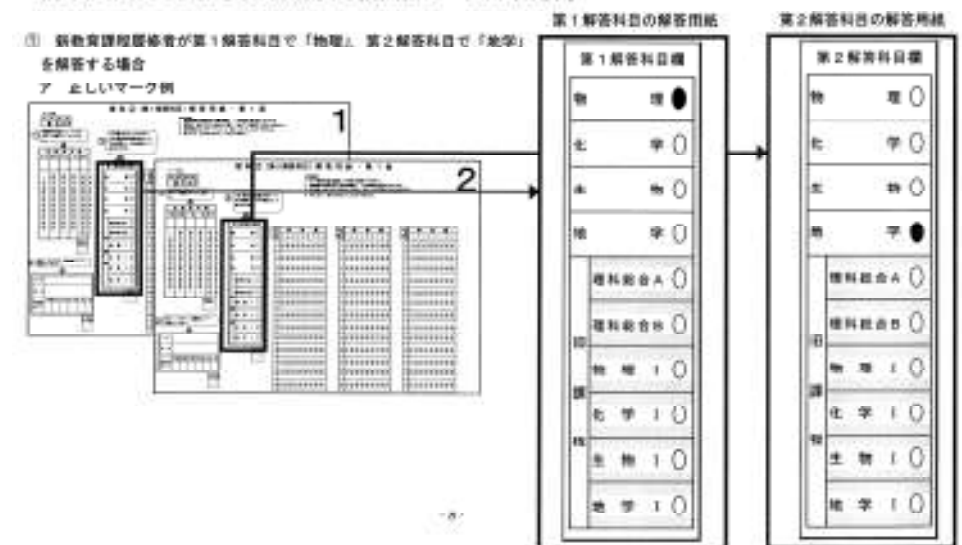


北海道釧路湖陵高等学校進路指導部



4 数学について

数学は、数学①と数学②に分かれますが、注意しなければならないポイントがいくつかあります。

①問題の解き間違いに注意

例えば、数学①の問題冊子は「数学Ⅰ・数学Ⅰ A・旧数学Ⅰ・旧数学Ⅰ A」が一冊になって渡される予定です。「数学Ⅰ A」を解きたいのに、間違って「数学Ⅰ」を解く人が毎年いますが、注意して欲しいです。加えて、今年度は、旧課程の「数学Ⅰ A」も同じ問題冊子にある予定ですから、旧課程用を間違って解いてはいけません。

②マークシートに注意

マークシートにも注意しなければなりません。「解答科目欄」をマークする際、「旧課程の数学Ⅰ A」と間違わないようにして下さい。間違った場合、脅しではなく、0 点になると公表されています。新課程履修者（現役生）は旧課程科目を選択できないというルールがあるからです。

3 数学①

(1) 新教育課程履修者が「数学Ⅰ・数学 A」を解答する場合

ア 正しいマーク例

解答科目欄			
数学Ⅰ	数学Ⅰ A	旧数学Ⅰ	旧旧数学Ⅰ A
○	●	○	○

4 数学②

(1) 新教育課程履修者が「数学Ⅱ・数学 B」を解答する場合

ア 正しいマーク例

解答科目欄					
数学Ⅱ	数学Ⅱ B	基工業数理	情報・資料	基礎情報	旧旧数学Ⅱ B
○	●	○	○	○	○

5 基礎を付さない理科の選択問題について

基礎を付さない理科において選択問題があり、どんな形式になるかわからないと言いました。いずれにしても、どれを（どちらを）選択すべきか判断する時間が必要です。問題をよく見てどれを（どちらを）選択するのがよいか考え、指示通り解答してください。あせらず、両方の問題に少しは目を通すことがポイントになると考えます。

6 センター試験にまつわるQ&A

Q 理科②で2科目受験と登録しましたが、必要なくなったので当日1科目に減らせますか？

A できません。受験票に記載されている通りに受験して下さい。

Q 当日は制服、私服どちらを着ていけばいいのでしょうか？

A どちらでもいいです。ただし、私服を着ていく場合は、英語や漢字、地図等不適切なものが服に書かれていないか確認してください。不適切なものは先日受験生に配布された「受験上の注意」のP7に書かれています。

Q 受験票の「数学」の欄に「○」が付いている（受験科目として登録されている）場合、数学①だけ受験して、数学②を受験しないことはできますか？

A できます。受験科目として登録されている場合、「数学①・数学②の両方またはいずれかを受験することができる」と「受験上の注意」のp2にあります。確認してください。

Q 試験時間中、急に体調が悪くなったら？

A 手を高くあげて、試験監督者の指示を仰ぎます。ただし、リスニングの最中の場合、試験監督者とのやりとりは「筆談」になることもあります。

Q 携帯電話・スマートフォンなどの取り扱いは？

A 「受験上の注意」でもしつこいぐらいに述べられている通り、「アラーム設定を解除し、電源をきって、かばんの中にしまっておく」こと。電源を切っていても、服のポケット等に入れていたら、不正行為になる可能性があります。「ついうっかり」では済まされないことです。湖陵高校のルールと同じですから、平素から気をつけている人は問題ないと思います。

Q 試験当日、不慮の事故等にあったら？

A 落ち着いて次のように対応します。

- ①落ち着いて、「受験票」に書かれている「問い合わせ大学」に連絡して状況を伝えます。
- ②担任の先生に状況を伝えます。

★「追試験」を受けるためには、「医師の診断書」や「事故等の証明書」などを持参して、「追試験の申請」を直接「問い合わせ大学」においてしなければなりません。決められた時間内に申請ができなければ、一切追試験を受験することはできません。

★万が一、受験生本人が「追試験の申請」ができない場合、代理人（保護者等）が行うことになるのですが、その際、代理人が受験番号・受験科目等を知っておく必要があります。事前に受験票のコピーを保護者に預けておくとう安心です。

☆1日目の追試験申請を2日目に行うことなどはできません。

☆「追試験」は言うまでもなく、安易に利用できるものではありません。利用しなくて済むように最大限注意してください。

☆「受験上の注意」のp14、15でもう一度確認してください。

受験生は配布された**「受験上の注意」をきちんと読み、備えてください。**リスニングについては、「大学入試センター」のホームページで、操作を確認することができますので、利用して下さい。きちんと備えることは、合計点をあげるために必要なことです。